

2013年より、継続調査を行っている「櫛形山トレッキングコースモニタリング調査」へ8月6日（金）に行ってきました。当日は快晴で、気温の上昇が心配されましたが、標高1900mを越える調査地は、涼しく快適でした。調査対象種のスルガヒョウタンボクは、すべての調査木で、植物上部の枝や葉がシカによると思われる食痕が見られました。

トレッキングコースの開設により、絶滅危惧IA類（CR）に指定されている本種の生育を心配して始まった調査ですが、開設による影響より、動物に上部が食べられる影響が大きく、年々背丈が小さくなっていると考えられます。

保護を考えると、何らかの対策が必要になってくるのではないのでしょうか。

上部が食べられている個体



新しい個体



上部が枯れている個体



防護ネットで保護した個体



トレッキングコース



北岳展望台にて

